

## 保護者の皆さまへ

### 【活動レポートに取り組むに当たって】

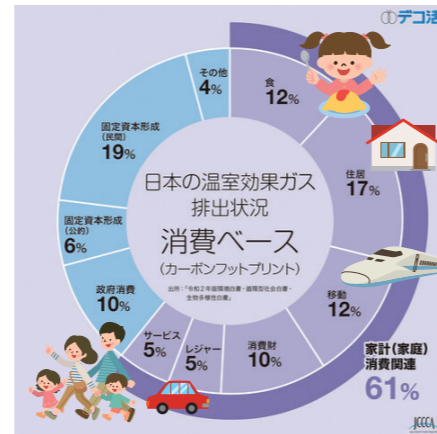
2015年、第21回 気候変動枠組み条約締約国会議（COP21）で採択されたパリ協定では、「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」という目標が掲げられ、2050年にカーボンニュートラル（温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする）を達成することが世界目標となっています。

日本も、2020年に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、温室効果ガスの排出量を「2013年度比で2030年度に46%削減」する目標を掲げています。

近年は、皆さまも暑さによる学校行事の時間や場所の変更など地球温暖化の影響が身近な問題であることを実感しているのではないのでしょうか。和歌山県においても、みかんの浮き皮や梅の不完全花などへの影響が懸念されています。

このような背景の中で、家計から排出される温室効果ガスの量を消費ベースでみると、日本全体の排出量の6割近くを占めるという報告があります。そのため私たちが普段の生活の中で、ごみの削減や分別、節電節水などの取組に加え環境負荷の少ない選択をすることが、温室効果ガスの排出量削減につながります。

こうしたことを知ってもらうため、県では、県民の皆さまへの啓発活動を積極的に行っています。この機会に、子どもたちと『（温室効果ガスの1つである）二酸化炭素を減らすためにどのような行動を行えばよいのか』について話し合い、実践し、その活動を子どもたちが「活動レポート」にまとめて報告していただけることを楽しみにしております。



出典：全国地球温暖化防止活動推進センター <https://www.jccca.org/> 一部改変

### 【作品の公開について】

裏面の保護者同意欄において、署名がある場合に限り、審査対象とし、作品の公開をさせていただきます。特に優秀な内容については、表彰し、県内の施設等で展示いたします。詳細は、「2026わかやま子どもエコチャレンジ」のホームページをご参照ください。

## 2026わかやま子どもエコチャレンジに取り組むにあたって、参考になるサイト

和歌山県環境ポータルサイト  
<https://wakayama-kankyo-portal.com/>



環境省「ecojinエコジン」  
<https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/>



気候変動適応情報プラットフォーム  
(国立研究開発法人 国立環境研究所)  
<https://adaptation-platform.nies.go.jp/>



国立環境研究所「環境問題をわかりやすく」  
<https://www.nies.go.jp/kankyomondai/>



環境省「子ども環境白書」  
<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/kodomo.html>



JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター  
<https://www.jccca.org/>



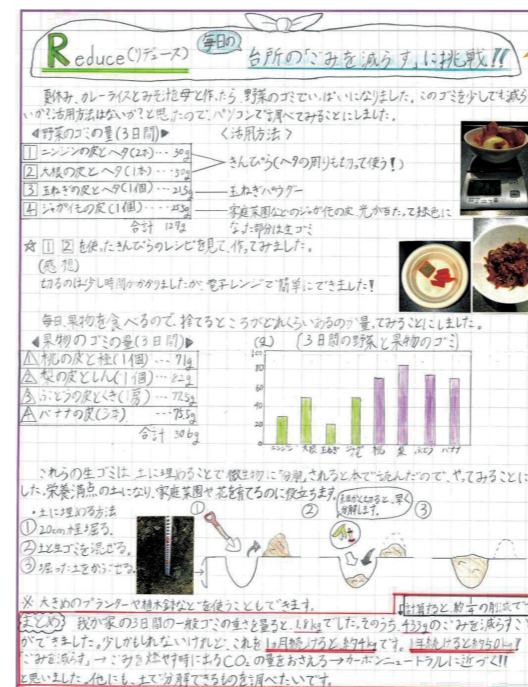
# 2026わかやま子どもエコチャレンジ

## 活動レポート

### 活動レポートの書き方について

書くときは、活動の内容や分かったこと・感想などについて、図や表を使ったり、区切ったりして工夫して表してみましょう。

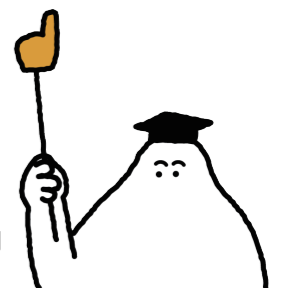
【例：過去の入賞作品】



グラフや写真、表を使って  
分かりやすく説明しています。



和歌山県環境ポータルサイト  
イメージキャラクター「だったん」



審査基準は以下のとおりです。

- （1）温暖化対策としての効果が現れている、または期待できること。
- （2）創意工夫があり、独自性が感じられること。
- （3）図、表などを用いて、分かりやすく表現されていること。

活動レポートを提出した児童全員に参加賞をプレゼント！  
保護者の同意があった作品の中から優秀な作品を決定し、入賞者には、図書カードと記念品を贈ります！

### わかやま子どもエコチャレンジについて

和歌山県ホームページ「わかやま子どもエコチャレンジ」

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/d00221127.html>

→過去の作品や展示の様子は、こちらからご覧いただけます。

→7月上旬ごろに令和8年度版を公開予定です。



提出された活動レポートは、返却しません。

完成した活動レポートは学校に提出してください。

